

新山下駅周辺地区

Vol.7

まちづくり協議会ニュース

発行 / 新山下駅周辺地区まちづくり協議会事務局（宮城大学山元復興ステーション）
山元町山寺宇山下 32 TEL/FAX:0223-23-1753

9月20日 協議会開催報告

得意さんは若手さんに手を貸して応援! 若手さんは得意なところでイキイキと!

まちなみづくり工夫集

平成 27 年 4 月から新山下市街地の宅地引き渡しが始まる予定。誇りあるふるさととして、新市街地が子や孫の世代にまで受け継がれるよう、まちづくり協議会では「まちなみづくり」の工夫を検討してきました。

9 月 20 日の協議会では、これまでの検討内容をまとめた「まちなみづくり工夫集」の完成に向け、工夫集の目的、構成、内容など全体の確認を行いました。特に、垣や柵、門や門柱、プライバシーや日照確保、建物の配置やデザイン、緑化の工夫など、新市街地に住む人が家を建てる際に参考となるような、具体的な工夫について話し合いました。



9月の協議会でも
さまざまな意見が
出されました



高齢者に暮らしやすいまちづくり

新山下市街地では高齢化率が高くなることが予想されます。このことに危機感を持ちながら「高齢者に暮らしやすいまちづくり」を検討しています。

今回は「みんなが使いやすい世代間交流ができる場」「日常生活を支える商業施設」「車の運転が困難な高齢者のための交通手段」「福祉サービスの充実」などをテーマに、提言内容を話し合いました。今後、取りまとめて 12 月に町へ提言書を提出する予定です。

今後の協議会のありかたについて

これまで学校や公園、道路、駅前広場の配置や使い方など、町の土地利用計画や公共施設計画に対する提言を中心に活動してきました。今回は今後の協議会のあり方として、現在の災害公営住宅での課題なども踏まえ、新山下市街地のコミュニティ形成に関することを中心に話し合いました。

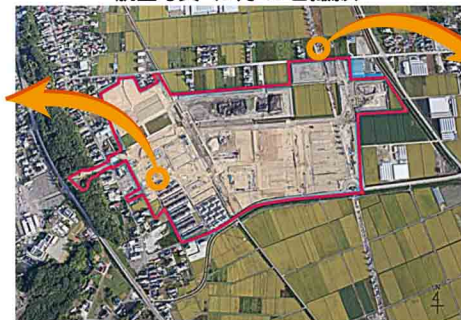
造成工事の今!

航空写真 (9月15日撮影)



現在入居している災害公営住宅の北側に位置する住宅の建設の様子

2014.10.4 photo:k・w



平成 29 年春の開通を目指して、JR の高架橋がどんどんできがってきています



缶詰やカップめん、水の準備。お米何升でおにぎり何個分ー？ 新山下駅周辺地区公営住宅の自治会「新友会」の役員は10月19日の防災訓練に向けて「訓練の練習」を行いました。

当日はハンドマイクの呼び掛けとともに、住民同士が声を掛け合って一斉に町中央公民館へ。自動車のほか徒歩や自転車の方もいます。避難行動要支援者名簿をもとに、介助や車の相乗りなどの避難支援が必要な人と支援者とを組み合わせた個別計画を事前に作成していたため、スムーズに避難できました。その後は防災体験ワークショップや炊き出しなどが行われました。

知っていますか？

< 避難行動要支援者名簿 >

災害時に、避難支援が必要な避難行動要支援者(要介護高齢者や障害者など)を事前に把握するため、平成25年の災害対策基本法の改正において国が市町村に作成を義務付けたもの。

～参加者の声～

「紙食器作りを経験したので、震災時も動揺せずにできそうな気がします」(岩佐孝子さん)

「同じ班の人しか知りませんでしたので、今日参加して地域の人の顔が分かって良かった」(A・Sさん)



津波避難訓練



紙食器作り体験コーナー



防災体験ワークショップ

つづやき コーナー

いよいよ来年度に災害公営住宅に入ることが決まった皆さん、本当にうれしいかぎりですね!!

この3年半で荷物も増えたから、またの引越は大変!(引越業者を自分で決められるのかなあ)。引越をして生活が落ち着いたら花を植えて庭の手入れを楽しみたいな。公営住宅に花を植えることはできるのかな?!

入居の際はいろいろと大変ですが、頑張っって楽しい生活となるよう皆で体に十分気を付け、新しい人たちと有意義なおつきあいを楽しみましょう。(K)



会員募集中

思いを語り合いませんか!

■臨時総会のお知らせ■

11月29日(土) 10:00～

会場:(株)オオバ事務所内会議室

議案:第三次提言の承認



編集後記

10月は台風が猛威を振りました。被災された市町村では復旧に力を入れ、協力の輪が広がっているようです。

先日、岩手県の宮古に行ってきました。町の要所、要所に震災の写真と説明が提示されていて、訪れた方にはとても分かりやすいと思いました。新山下地区でも、今回の記事のように防災訓練が行われました。あの3.11の教訓が後世にまで伝わっていくよう、山元町でも、震災前後の様子や緊急時の避難場所・方法・連絡先などが町内に分かりやすく掲示されることを望みます。(しらがのアン)